



HIROKI YOSHIDA

OFFICIAL RELEASE

Race TOYOTA GAZOO RACING
 Date 2016.10.29-30
 Race Track SUZUKA CIRCUIT
 Team OTG MOTOR SPORTS
 Car OTG DL 86



ポールポジションから 0.3 秒落ちの予選 5 位。決勝に期待高まる。

いよいよ 2016 年シリーズの最終戦を三重県鈴鹿サーキットで迎えることになりました。鈴鹿サーキットは過去に一番走った経験の多いサーキットになるので、走るのが楽しみなサーキットになります。

| 2016.10.27-28 FREE PRACTICE

WEATHER : DRY/WET

今回も木曜日から走行を開始し、マシンのバランスを確認していきます。

金曜日が雨予報で土日が晴れの予報だったので、木曜日だけで予選、決勝に向けてのセッティングなどを確定させるつもりでメニューを進めてきました。

通常通りマシンのセッティングはもちろん、タイヤも NEW や熱入れかを選択するために比較していきます。

今回走行時のフィーリングは NEW タイヤがグリップしているように感じのですが、タイムは熱入れタイヤの方が出るという難しい状況となってしまいました。

金曜朝一本目の走行がドライで走れたので、もう一度タイヤの比較テストを行い、今回は実際タイムがでている熱入れ予選、決勝を走ることに決めました。

午後の占有走行を迎える頃には完全なウェット路面になっていたため、タイヤづくに専念し、計測しないままこの日のテストを切り上げることにしました。



| 2016.10.29 QUALIFYING/FINAL (公式予選 5 位 / 40 台中)

WEATHER : DRY

予選日は予報通り晴れ、ドライコンディションで走ることが出来ました。

今回はスーパーフォーミュラと併催で開催されていたのですが、この予選がスーパーフォーミュラ走行後の初走行となるので、路面に残るラバーなどのように影響するか不安要素がありました。

メカニックさんと相談し予選開始と共にアタックを開始したのですが、2 コーナーに到達した時点で前日ほどのグリップ感は感じることが出来ませんでした。

しかし、どうにかまとめようと必死でアタックし、計測 1 周目は他車に引っかかった部分もあったので続けて 2 周目もアタックした結果、2' 31.914 というタイムを刻むことが出来ました。

走行中のフィーリングは決して良いわけではありませんでしたが、他車も前日ほどは良くなかったようで、ポールの選手から約 0.3 秒落ちの 5 番手で予選を終えることが出来ました。



S P O N S O R S



P A R T N E R S





HIROKI YOSHIDA
OFFICIAL RELEASE

OTG
MOTOR SPORTS



シーズン最終戦の決勝は 5 位で終え、有終の美を飾る。

| 2016.10.30 FINAL (決勝 5 位 / 40 台中)

WEATHER : DRY

いよいよ 2016 シーズン最終戦を迎えることになります。

久しぶりに勝負のできるグリッドからスタートになるので、嫌でも力が入ってしまいます。スタート前にしっかりリラックスし、スタートの時を迎えました。

シグナル消灯と同時にまますますのスタートでポジションキープのまま 1 コーナーへ進入します。

しかしこの 1 コーナーでオーバーランしてしまい、二つポジションを落とした 7 番手で 1 周目を終えます。

そこから前の選手を追うことに集中しブッシュします。3 周目のシケインでアウト側から並び、シケイン二つ目も並走する形で最終コーナーをクリアしましたが、オーバーテイクには至らず中々前に出ることが出来ません。ここからは各コーナーで仕掛けるようなそぶりを見せつつチャンスを伺った結果、ヘアピン立ち上がりでうまく合わせることができ、6 番手にポジションアップすることに成功しました。

そこからもさらにブッシュし 5 番手の選手を追います。

レース距離も少なくなってきた最終ラップの 130R で、4 位争いをしている 2 台に追いつき仕掛けるチャンスが訪れました。シケインの外側から仕掛けると見せかけてイン側にマシンを滑り込ませた結果、接触してしまったもののポジションを上げ 5 位で最終戦のチェックを受けることが出来ました。

気温、路温が低くなった最終戦ということもあり、レーススペースが夏場に比べて速かったのでスタート直後のミスが悔やまれますが、最終戦で今季ベストタイのリザルトを残せたことは少しホッとしています。とはいえ、目標の優勝や表彰台に上がることが出来なかつたことを考えると、悔しいシーズンでした。

今年一年を振り返ると、速さで足りない部分、レースの強さが足りない部分など沢山の課題が残ると共に、タイヤの使い方や私の走り方の癖を把握したりと、得たことも沢山あった一年でした。

チームの皆様にはどんな細かいことでも妥協せずに速さを追及していただき、私がドライブに集中出来る環境を用意していただきました。

OTG チームの皆さん、チームメイトの服部さん、ダンロップタイヤ様のサポートのお陰で今年一年このハイレベルなクラスを戦い抜くことが出来たと思います。本当にありがとうございました。

来シーズンの予定は決まっていませんが、またこのチーム、メンバーでチャンピオン争いをしたいと思います。関係者の皆様、今年一年様々な形でのサポートありがとうございました。

今後も引き続きご指導ご支援よろしくお願い申し上げます。



S P O N S O R S

えいばーる
快適

SHIKEN
サイクル促進センター

ビジョンナガネ

Benefit one

BRUCE CLAY

Global Internet Marketing Solutions

HEARTFUL

SQUARE

PLANEX

CARS

Racers'

Cafe

GEO/TECH

LHG

JTD

P A R T N E R S

Team Naoki

GR
Gulf Racing

GR
TOYOTA GAZOO Racing

OTO
OSAKA TOYOPET GROUP

RIGHT WAY

RIVAUXT

PLATZ

CCar

3D
Racing Techniques

